

令和3年(2021)12月期(第59期)第3四半期 決算ダイジェスト

連結売上高 1,687億08百万円(前年同期比+6.3%)

親会社株主に帰属する四半期純利益 74億80百万円(前年同期比+30.9%)

令和3年(2021)12月期-第59期-第3四半期 連結経営成績 ※令和3年3月15日発表の修正予算にて記載しております。

	令和2年(2020)12月期 第3四半期		令和3年(2021)12月期 第3四半期							
	実績	率	実績	率	前年増減額	前年同期比	予算	率	予算差額	予算比
売上高	1,587億53百万円	-	1,687億08百万円	-	+99億54百万円	+6.3%	1,690億51百万円	-	△3億42百万円	△0.2%
売上総利益	344億91百万円	21.7%	357億54百万円	21.2%	+12億62百万円	+3.7%	366億54百万円	21.7%	△8億99百万円	△2.5%
販売費及び一般管理費	263億53百万円	16.6%	262億94百万円	15.6%	△58百万円	△0.2%	265億00百万円	15.7%	△2億05百万円	△0.8%
(うち減価償却費)	47億23百万円	3.0%	51億44百万円	3.0%	+4億20百万円	+8.9%	52億02百万円	3.1%	△58百万円	△1.1%
営業利益	81億38百万円	5.1%	94億59百万円	5.6%	+13億21百万円	+16.2%	101億54百万円	6.0%	△6億94百万円	△6.8%
経常利益	84億59百万円	5.3%	100億14百万円	5.9%	+15億54百万円	+18.4%	107億08百万円	6.3%	△6億93百万円	△6.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	57億14百万円	3.6%	74億80百万円	4.4%	+17億65百万円	+30.9%	73億74百万円	4.4%	+1億06百万円	+1.4%
1株当たり四半期純利益	86円66銭	-	113円43銭	-	+26円77銭	-	111円82銭	-	+1円61銭	-
PB売上高	312億84百万円	19.7%	325億00百万円	19.3%	+12億15百万円	+3.9%	329億79百万円	19.5%	△4億79百万円	△1.5%
設備投資額	75億64百万円	-	39億28百万円	-	△36億35百万円	-	-	-	-	-

セグメント別実績

	令和2年(2020)12月期 第3四半期		令和3年(2021)12月期 第3四半期				
	売上高	売上総利益	売上高			売上総利益	
			金額	前年同期比	予算比	率	前年同期比
ファクトリールート	1,166億74百万円	21.2%	1,213億39百万円	+4.0%	△0.7%	20.7%	△0.5pt
eビジネスルート	286億12百万円	25.5%	328億12百万円	+14.7%	+1.3%	23.9%	△1.6pt
ホームセンタールート	125億80百万円	17.7%	133億26百万円	+5.9%	+0.8%	17.8%	+0.1pt
海外ルート	8億86百万円	30.3%	12億29百万円	+38.7%	△1.9%	31.6%	+1.3pt
全社合計	1,587億53百万円	21.7%	1,687億08百万円	+6.3%	△0.2%	21.2%	△0.5pt

売上高 1,687億08百万円 / 前年同期比+6.3%

生産工場の稼働や設備投資の回復により、売上高は緩やかに回復傾向となりました。

(1)ファクトリールート 1,213億39百万円(前年同期比+4.0%/+46億65百万円)【予算比△0.7%/△8億56百万円】

市場のニーズに即した在庫拡充を進め、得意先様の利便性向上に努めました。また、生産工場の稼働や設備投資の回復により、作業用品やハンドツール、物流保管用品などの売上が回復しました。

(2)eビジネスルート 328億12百万円(前年同期比+14.7%/+41億99百万円)【予算比+1.3%/+4億28百万円】

通販企業様向け 256億15百万円(前年同期比+15.1%/+33億51百万円)

MROサプライ※ 71億97百万円(前年同期比+13.4%/+8億47百万円) ※電子購買向けの販売。

約329万アイテムに及ぶ商品データベースと得意先様のシステム連携を継続し、ニーズに合わせた梱包形態に対応した独自の物流サービス強化により通販企業様とのお取引が拡大しました。

(3)ホームセンタールート 133億26百万円(前年同期比+5.9%/+7億46百万円)【予算比+0.8%/+1億09百万円】

プロショップ様への売上高 20億77百万円(前年同期比+19.0%/+3億31百万円)

ホームセンター様、プロショップ様を中心に積極的な売場提案を継続しました。当社の48万アイテムに及ぶ在庫を活用した店頭でのサービスや帳合獲得、売場提案などが売上高増に寄与し、業績は堅調に推移しました。

(4)海外ルート 12億29百万円(前年同期比+38.7%/+3億43百万円)【予算比△1.9%/△23百万円】

新型コロナウイルス感染症拡大により、社会活動が制限される中、市場のニーズに即した在庫拡充や既存得意先様との取引拡大を進めました。

売上総利益 **売上総利益率 21.2%** / **前年同期比△0.5pt**

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る粗利の高い商品群の特需が一服したことで、売上総利益率が低下しました。

参考(親単体) ()前年同期比

・NB 商品売上総利益率:17.5%(△0.4pt)、PB 商品売上総利益率 36.3%(△0.6pt)

・PB 商品売上高構成比:19.3%(△0.4pt)、PB 商品売上高:325 億 00 百万円(+3.9%)

販売費及び一般管理費 **262 億 94 百万円** / **前年同期比△0.2%(△58 百万円)** ()前年同期比

主な要因は以下の通りです。

(1)支払手数料 16 億 20 百万円(△14.0%/△2 億 64 百万円)

昨年の基幹システムリニューアルにかかる初期対応費用(△2 億 89 百万円)

(2)広告宣伝費 4 億 02 百万円(△33.5%/△2 億 02 百万円)

株主優待廃止関連費用(△1 億 71 百万円)

(3)借地借家料 2 億 50 百万円(△44.1%/△1 億 97 百万円)

外部倉庫解約(△1 億 78 百万円)

(4)減価償却費 51 億 44 百万円(+8.9%/+4 億 20 百万円)

① プラネット南関東の建替棟・マテハン機器など(+4 億 33 百万円)

② プラネット東北の増築棟・マテハン機器など(+2 億 12 百万円)

(5)運賃及び荷造費 49 億 90 百万円(+5.8%/+2 億 74 百万円)

① 需要増で路線便の出荷個数が増加(+3 億 07 百万円)、うちユーザー様直送の増加(+1 億 65 百万円)

⇒出荷個数 458 万個(+56 万個)

注)ユーザー様直送については依頼された得意先様に運賃をご負担いただいております。

② 備車費用減少(△63 百万円) (参考)備車台数 186 台(前期末比 △2 台)

在庫に関する重要指標 ()前期末比

(1)在庫アイテム数:48 万 8,893 アイテム (+3 万 2,952 アイテム)

(2)在庫ヒット率※ :91.2% (+0.2pt) ※全受注のうち在庫から出荷した割合

令和3年(2021)12月期 -第59期- 通期業績予想 (11/1 業績予想修正)

	前回発表予想 (令和3年3月15日発表)	今回修正予想 (令和3年11月1日発表)	前回予想比	前年比
売上高	2,275億20百万円	2,275億20百万円	-	+6.6%
営業利益	131億70百万円	131億70百万円	-	+19.5%
経常利益	138億20百万円	138億20百万円	-	+19.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95億20百万円	※ 119億70百万円	+25.7%	+49.5%
1株当たり当期純利益	144 円37 銭	181 円52 銭	+37円15銭	+60円09銭
1株当たり配当金	36 円50 銭	36 円50 銭	-	+6円00銭

※固定資産の譲渡に伴う特別利益の計上により、令和3年11月1日に親会社株主に帰属する当期純利益の上方修正を行いました。

なお、事業活動に直接関わりのない特別利益のため、令和3年2月開示の配当方針に基づき1株当たりの配当金は修正していません。

【発行責任者】トラスコ中山株式会社 経営企画部 部長 下津 敦嗣

【本件問い合わせ先】経営企画・広報 IR 課 課長 高田 真由美 高橋 実花

TEL:03-3433-9840/MAIL:info@trusco.co.jp